

暴れ川の記憶

「暴れ川」と呼ばれ、流域に度重なる水害をもたらした鶴見川。本冊子は昭和30年代からの主な水害に関する当時の新聞報道と地域の方々の貴重なインタビューを再構成したものです。



鶴見川多目的遊水地



上映会と講演会

暴れ川の記憶 豪雨が鶴見川下流 (港北区・鶴見区) を襲ったら・・・

暴れ川の記憶：制作 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 写真：神奈川新聞社撮影

2017

3/5(日)

10:00~12:00

●会場：港北図書館

要申込・参加無料

定員30名

定員になり次第締め切り

対象：大人(小学生高学年以上)

申し込みは裏面へ

近年、鶴見川流域の治水努力が進んだために、すっかり水害が少なくなりましたが、鶴見川下流(港北区・鶴見区)は、かつて水害常襲地帯でした。鶴見川流域に鬼怒川と同じような雨が降ったら、大災害が予想されます。鶴見川流域の水害と治水の歴史を振り返り、これから市民ひとりひとりがどういう行動をしたら良いか、皆様と考えてゆきたいと思います。

プログラム

上映会

暴れ川の記憶【国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所制作】

新横浜公園と鶴見川多目的遊水地【港北ふるさとテレビ局制作】

講演会

岸 由二氏

交流会 講師との意見交換 質疑応答など

講師・コメンテーター

伊藤 幸晴氏 【港北ふるさとテレビ局(水マス推進サポーター※)】

岸 由二氏 【慶應義塾大学名誉教授、河川分科会委員、ドラゴンウォッチの会(水マス推進サポーター)】

プログラムは変更となる場合があります。

※鶴見川流域水マスタープラン(水マス)のビジョンにそって「流域貢献活動(流域CSR活動)」をすでに行っている団体・企業を「水マス推進サポーター」として認定し、それぞれの主体による「流域貢献活動」を通じて、水マス推進のための情報交換や活動連携の輪に加わっていただくための仕組みが「水マス推進サポーター制度」です。

主催：鶴見川流域水協議会

(国土交通省関東地方整備局 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 町田市 稲城市)

共催：連携鶴見川流域ネットワーク

協力：港北ふるさとテレビ局 港北図書館 ドラゴンウォッチの会

交通

JR 菊名駅徒歩7分

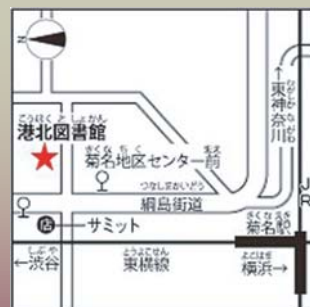
東急東横線菊名駅東口

徒歩7分

市営バス停

「菊名地区センター前」

下車1分(41、59系統)



港北図書館ホームページより転載

2017
3/5(日)
10:00~12:00

上映会と講演会

暴れ川の記憶 豪雨が鶴見川下流 (港北区・鶴見区)を襲ったら・・・

お申込み

代表者氏名 (フリガナ)	〒	住 所	電話 / FAX 番号 / E メール	年 齢
参加者氏名 (フリガナ)	〒	住 所	電話番号	年 齢

上記項目をご記入のうえ、下記 FAX 番号・Eメールまで送信しお申込みください。

※参加に伴う個人情報の取り扱いにつきましては、本企画の実施に限り使用させていただきます。

↓ **FAX: 045-546-4344** **TEL:045-546-4337**
Eメール:office@tr-net.gr.jp